

大口町史 現代史編

年表

あとがき

引用・参考文献一覧

掲載図版一覧

協力者一覧

『大口町史～現代史編』編さん関係者名簿
索引



年表

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|------|--|--|
| 一九四五 | 昭和二十 | 昭和天皇による「玉音放送」で無条件降伏受諾を国民に発表（八月十五日） | 公選制による農地委員会（のちの農業委員会）設置（十二月） |
| 一九四六 | 二十一 | 入鹿池改修工事完了（三月） 農地改革施行（十一月二十二日） | |
| 一九四七 | 二十二 | 教育基本法公布（三月三十一日） 日本国憲法施行（五月三日） 農業協同組合法公布（十一月十九日） | 大口中学校創立（四月一日） 大口南・北小学校改名（四月一日） 大口村警防団を消防団に改称（五月一日） 村会を村議会と改称（六月） 五条川村内区間改修工事着手 |
| 一九四八 | 二十三 | 地方自治法施行（一月一日） 教育委員会法公布（七月十五日） | 大口村農業協同組合創立（七月） |
| 一九四九 | 二十四 | 土地改良法公布（六月六日） 社会教育法公布（六月十日） | 国民健康保険事業開始（四月一日） 大口村養蚕組合設立（四月） 社会学級開講（七月二十六日） |
| 一九五〇 | 二十五 | 公職選挙法施行（五月一日） 生活保護法公布（五月四日） 朝鮮動乱発生（六月二十五日） 地方公務員法公布（十二月十三日） | 大口村公民館竣工（三月二十七日） 青年学級開講（七月） 大口広報第一号発行（十一月） 農地交換分合始まる |
| 一九五一 | 二十六 | サンフランシスコ平和条約締結（九月八日） | 五条川（荒井堰まで）改修工事完了（三月） 村立診療所設置（六月一日） 大口南・北小学校に大口南・北保育所併設（十二月一日） 木津用水土地改良区発足（十二月一日） |
| 一九五二 | 二十七 | 農地法公布（七月十五日） | 大口村教育委員会設置（十一月六日） 五条川堤に桜植樹開始 |
| 一九五三 | 二十八 | 町村合併促進法公布（九月一日） | 南・北保育所園舎新築（三月） |
| 一九五四 | 二十九 | 教育二法公布（六月三日） 自衛隊発足（七月一日） | 簡易水道（竹田・小折新田地区）設置（竹田…四月、小折新田…十月） 大屋敷地内で縄文中期の土器発掘 |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|-----|---|---|
| 一九五五 | 三十 | | 大口村工場設置並びに拡張に関する固定資産税減免並びに奨励条例制定(八月) |
| 一九五六 | 三十一 | | 民成紡績株式会社(現トヨタ紡織株式会社) 操業開始 |
| 一九五七 | 三十二 | 第一期濃尾用水事業着工(六月一日) | 村営住宅豊田団地建設(九戸) |
| 一九五八 | 三十三 | 東京タワー完成(十二月二十三日) | 有線放送開局(四月) |
| 一九五九 | 三十四 | 伊勢湾台風(九月二十六日) 国民健康保険法改正(十二月) | 県営住宅垣田団地建設(三七五戸) |
| 一九六〇 | 三十五 | 身体障害者雇用促進法・精神薄弱者福祉法制定(四月) カラーテレビ放送開始(九月十日) | 大口村商工会発足(二月十三日) 大口村工場設置並びに拡張に関する奨励条例全部改正(九月) |
| 一九六一 | 三十六 | 愛知用水通水(九月三十日) 農業基本法成立(六月十二日) | |
| 一九六二 | 三十七 | 犬山頭首工完成(七月二十二日) 全国総合計画策定(十月五日) | 町制施行(四月一日) 大口町体育協会設立(四月) |
| 一九六三 | 三十八 | 老人福祉法公布(七月十一日) | 大口町工場誘致条例制定(九月) |
| 一九六四 | 三十九 | 東海道新幹線営業開始(十月一日) 第十八回オリンピック東京大会開会式(十月十日) | 大口町総合計画審議会条例制定(三月十九日) 大口町・小牧市開発事業団発足(三月) |
| 一九六五 | 四十 | 明治村開村(三月十八日) 名神高速道路全線開通(七月一日) | |
| 一九六六 | 四十一 | メートル法完全施行(四月一日) 中部圏開発整備法公布(七月一日) | 大口町土地改良区設立(一月) 県営ほ場整備事業着手(二月) 工場誘致条例廃止(三月) 中保育所(現西保育園)設置(四月一日) 母子健康センター設立(施設新築と診療所改築)(五月十八日) 大口町総合開発計画樹立 |
| 一九六七 | 四十二 | 公害対策基本法公布(八月三日) 総人口一億人突破 | |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|------|---|--|
| 一九六八 | 四十三年 | 第一期濃尾用水事業完了(三月三十一日) 東名高速道路全線開通(五月二十六日) 新全国総合開発計画決定(五月三十日) 新都市計画法施行(六月十四日) 人類初「月面有人着陸」(七月二十日) 第二期濃尾用水事業着手(十月一日) | 大口電話局開局(十月二十六日) 国道四一号(名濃バイパス)開通(十一月一日) |
| 一九六九 | 四十四年 | 万国博覧会開催(大阪)(三月十五日～九月十三日) 心身障害者対策基本法制定(五月) 公害基本法改正(十二月二十五日) 高齢化社会(高齢化率七%) 環境庁発足(七月一日) | 市街化区域・市街化調整区域決定(十一月二十四日) 東保育所設置(十二月) 町営住宅小口団地(準耐火構造二階建完成(十二戸)) |
| 一九七〇 | 四十五年 | | 都市計画道路の都市計画決定(三月三十一日) 用途地域・都市計画道路決定(三月) 北保育所移転(現中保育園)(六月三十日) 農業振興地域指定(九月六日) |
| 一九七二 | 四十六年 | 第十一回冬季オリンピック札幌大会(二月三日～十三日) 入鹿池大規模老朽ため池事業完了(三月) 沖繩本土復帰(五月十五日) 日中国交回復(九月二十九日) | 学校給食センター竣工(二月二十九日) 尾張北部水道企業団が発足(四月一日) 町制施行十周年、町章制定(八月一日) 新庁舎竣工(十一月二十日) |
| 一九七三 | 四十八年 | 老人福祉法改正(福祉元年)(二月) 第四次中東戦争勃発、第一次石油危機(十月～一九七四年三月) | 町営住宅小口団地改築(中層耐火構造四階建一棟)竣工(三月三十日) 公害監視委員選任(四月一日) 第二次大口町総合計画策定(五月) |
| 一九七四 | 四十九年 | 愛知県立丹羽高等学校開校(四月一日) 国土利用計画法公布(六月二十五日) 経済不況 | 丹羽消防組合設立(十月一日) |
| 一九七五 | 五十一年 | | 大口西小学校開校(四月一日) 中保育所を西保育園に、北保育所を中保育園に改称して北保育園を現在地に設置(四月一日) 国道一五五号町内供用開始(九月十日) |
| 一九七六 | 五十一年 | 核拡散防止条約承認(六月) | |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|-----|---|--|
| 一九七七 | 五十二 | 新東京国際空港（成田）開港（五月二十日） 日中平和友好条約調印（八月十二日） | 社本鋭郎氏名誉町民章授与（四月一日） 岩倉学園大口幼稚園開園（四月一日） 農村総合整備事業開始（四月） |
| 一九七八 | 五十三 | 御嶽山有史以来の初噴火（十月二十八日） 第二次石油危機（十月～一九八二年四月） 第二回オリンピックモスクワ大会（日本不参加）（七月十九日～八月三日） 国際児童年 | 県営ほ場整備事業大口地区完了（三月） 第三次大口町総合計画策定（五月） 大口町総合福祉会館竣工（八月三十一日） 尾北自然歩道竣工 |
| 一九八〇 | 五十五 | 世界保健機関「天然痘根絶宣言」（五月八日） 第二次臨時行政調査会発足（三月十六日） 国際障害者年 | 大口町公民館クラブ連合会（現文化協会）設立（十一月二日） |
| 一九八一 | 五十六 | リニアモーターカー有人浮上走行実験成功（九月二日） 中央自動車道全線開通（十一月十日） カード式公衆電話設置・テレホンカード発売（十二月二十三日） | 大口町史発行（二月） 温水プール竣工（三月十一日） 西保育園舎新築（三月） 社本育英事業開始（四月一日） 町制施行二十周年、町民憲章制定（九月十日） 町の木（もくせい）・町の花（さくら）決定 |
| 一九八二 | 五十七 | 老人保健法施行（二月一日） 東京デイズニールランド開園（四月十五日） 先進五か国蔵相会議（ブラザ合意）（九月二十一日） | 南保育園舎新築移転（三月） 白山ふれあいの森開設（四月一日） 第四次大口町総合計画策定（三月） |
| 一九八四 | 五十九 | 国民年金法改正（基礎年金制度創設）（五月） 道路交通法改正（一般道シートベルト義務化）（九月一日） 男女雇用均等法施行（四月一日） | 大口北部中学校開校（四月一日） 非核平和宣言（九月十三日） 交通安全の町宣言（三月二十四日） |
| 一九八五 | 六十 | 国鉄民営化、JR十一社発足（四月一日） 障害者雇用促進法改正（旧身体障害者雇用促進法）（四月一日） 精神保健法公布（九月） | 大口余野特定土地区画整理事業開始（二月八日） 東保育園舎新築（二月二十六日） 社会福祉法人大口町社会福祉協議会設立（七月一日） |
| 一九八七 | 六十二 | ブラックマンデー（世界で株価大暴落）（十月十九日） | |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|-----|--|---|
| 一九八八 | 六十三 | 青函トンネル開業（三月十三日） 第二期濃尾用水事業完了（三月三十一日） | 江南警察署大口派出所が開所式（四月十五日） 学校給食センター施設更新（八月二十五日） 五条川左岸関連公共下水道事業着工（十一月） |
| 一九八九 | 平成元 | 消費税法施行（消費税率三％）（四月一日） 高齢者保健福祉十か年戦略（ゴールドプラン）（四月） NHKが衛星放送開始（六月一日） 世界デザイン博覧会（名古屋）（七月十五日～十一月二十六日） 子どもの権利に関する条約採択（十一月二十日） | 尾張北部聖苑が竣工（二月二十八日） |
| 一九九〇 | 二 | 県及び市町村、老人保健福祉計画策定義務化（六月） 生涯教育振興法成立（六月） 東西ドイツ統一（十月三日） 株価暴落（バブル経済の崩壊） | 電算システム稼動（自己処理）（一月四日） 町民会館、商工会館竣工（二月十二日） 総合運動場完成（三月二十日） 第四次大口町総合計画後期基本計画策定（三月） 心身障害者小規模授産所開設（四月一日） |
| 一九九一 | 三 | 湾岸戦争（クウェート）勃発（一月十七日） | 農業集落家庭排水供用開始（四月一日） 西放課後児童クラブ開設（西保育園利用）（五月二十一日） 名鉄バス路線休止（十月二十一日） |
| 一九九二 | 四 | 東海道新幹線「のぞみ」運行開始（三月十四日） 入鹿池防災ダム工事完了（三月） 育児休業法施行（四月一日） 国家公務員週休二日制開始（五月一日） | 中保育園舎新築（三月） 防災行政無線システム開始（四月一日） 町制施行三十周年（四月一日） リフレッシュリゾート助成事業開始（四月一日） |
| 一九九三 | 五 | Jリーグ（十チーム）初開催（五月十五日） 障害者基本法改正（旧心身障害者対策基本法）（十二月三日） | 北放課後児童クラブ開設（北小学校クラブハウス利用）（四月） 健康のまち宣言（十二月二十二日） |
| 一九九四 | 六 | 小選挙区比例代表並立制施行（三月四日） ハートビル法制定（六月二十九日） エンゼルプラン（十二月） 高齢社会（高齢化率一四％） | 第四九回国民体育大会ソフトボール競技成年男子二部開催（十月三十日～十一月二日） わかしゃち国体記念運動場公園設置（十二月二十二日） |
| 一九九五 | 七 | 阪神淡路大震災（一月十七日） 製造物責任法（PL法）施行（七月一日） 新食糧法施行（米の販売自由化）（十一月一日） 高齢社会対策基本法（十一月八日） | 尾北看護専門学校が開校（四月一日） 特別養護老人ホーム御桜乃里が開所（四月一日） スポーツ少年団設立（四月一日） |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|----|---|---|
| 一九九六 | 八 | 国内初検索サイト「Yahoo! JAPAN」開設（四月一日） 住宅金融債権管理機構発足（七月二十六日） | 五条川左岸公共下水道供用開始（二月九日） 堀尾跡公園竣工（三月） 第五次大口町総合計画策定（三月） 南放課後児童クラブ開設（南小学校クラブハウス利用）（四月） 大口余野特定土地区画整理事業完了（十二月十六日） |
| 一九九七 | 九 | 消費税法改正（税率5%）（四月一日） 児童福祉法改正（六月十一日） 地球温暖化防止京都会議（京都議定書採択）（十二月十一日） | 五条川右岸公共下水道事業着手（三月） 丹羽消防署大口出張所開設（四月一日） 健康文化センター竣工（大口町歴史民俗資料館開館）（十一月九日） 河北グラウンド設置（十一月二十日） |
| 一九九八 | 十 | 郵便番号七桁化（二月二日） 第十八回冬季オリンピック長野大会（二月七日～二月二十二日） 特定非営利活動（NPO）促進法施行（十二月一日） 新濃尾第一期事業着手（十二月一日） | 小口城址公園竣工（二月） 大口町障害者福祉計画（現大口町障がい者ほほえみ計画）策定（三月） 愛北衛生処理組合・尾張北部聖苑組合・尾北広域事務組合を統合して愛北広域事務組合発足（四月一日） 西児童センター設置（四月一日） 大口町情報公開条例公布（十一月十二日） |
| 一九九九 | 十一 | 大規模小売店舗法施行（六月十一日） 男女共同参画社会基本法成立（六月二十三日） 交通バリアフリー法制定（十二月十五日） | 東保育園休園（三月三十一日） 資源（容器包装プラスチック類や段ボール等）回収開始（四月一日） 大口町NPO活動促進条例公布（六月） 大口町地下水の水質保全に関する条例公布（六月） 東海豪雨（北河原橋被災、西河原橋周辺五条川越水）（九月十一日） |
| 二〇〇〇 | 十二 | ハッピーマンデー制度施行（一月十日） 介護保険法施行（四月一日） 介護保険制度開始（四月一日） 地方分権一括法施行（平成の大合併スタート）（四月） 東海豪雨（新川氾濫）（九月十一日） | 南児童センター設置（南児童クラブ同所へ移転）（四月一日） 社会福祉法人おおくち福祉会設立（六月） |
| 二〇〇一 | 十三 | 中央省庁再編（一府二省→一府二省）（二月六日） 情報公開法施行（四月一日） 家電リサイクル法施行（四月一日） 国内初BSE感染牛確認（九月十日） | 町制施行四十周年（四月一日） 知的障害者授産施設ハートフル大口開所（四月） 丹羽広域事務組合設立（丹羽消防組合と尾張北部水道企業団を統合）（四月一日） |
| 二〇〇二 | 十四 | 学習指導要領見直し・「ゆとり教育」開始（四月六日） 住民基本台帳ネットワーク始動（八月） | |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|----|---|---|
| 二〇〇三 | 十五 | 公職選挙法改正（期日前投票制度導入）（六月十二日） 次世代育成支援対策推進法（七月十六日） 少子化社会対策基本法公布（七月三十日） 地上デジタルテレビ放送開始（十二月一日） | 巡回バス試行運転開始（三月三日～二十八日） 大口町生涯学習基本構想策定（三月） 二市二町合併検討協議会発足（八月五日） |
| 二〇〇四 | 十六 | 国民保護法成立（六月十八日） 発達障害者支援法（十二月十日） 子ども子育て応援プラン策定（十二月） 入鹿用水バイブライン化完了 | 二市二町合併検討協議会解散（三月三十一日） 大口町健康づくり計画「健康おおぐち21」第一次計画策定（三月） 岩倉学園ラ・モーナ幼稚園開園（四月一日） 大口町地域再生計画認定（暮らし楽々まちづくり）（六月二十一日） 北児童センター設置（七月二十日） 大口町地域安全パトロール協議会発足（八月一日） おおぐち元気戦隊「タッシュマン」誕生（十一月六日） |
| 二〇〇五 | 十七 | 中部国際空港（セントレア）開港（二月十七日） 万国博覧会開催（愛知）（三月二十五日～九月二十五日） 個人情報保護に関する法律施行（四月一日） | コミュニティ・ワークセンター竣工（三月一日名称変更）（二月二十二日） 大口町次世代育成支援行動計画策定（三月） 愛知万博おおぐちDAY1開催（三月二十八日） 大口町地域再生計画認定（五条川アクアポリスおおぐち再生計画）（六月十七日） |
| 二〇〇六 | 十八 | 障害者自立支援法施行（四月一日） 認定こども園設置法公布（十月一日） 日本郵政株式会社発足（十月一日） サブプライム住宅ローン危機・世界金融危機 超高齢社会（高齢化率二一％） | 第六次大口町総合計画策定（三月） 五条川右岸公共下水道供用開始（四月一日） 大口誕生百周年記念事業実施（十月一日） |
| 二〇〇七 | 十九 | 後期高齢者医療制度施行（老人保健制度廃止）（四月一日） ふるさと納税制度施行（五月一日） リーマンショック、株価暴落（十月） | 大口町障害福祉計画策定（三月） 大口町地域再生計画認定（OPI-TOWNおおぐち構想）（四月） 地方自治法施行六十周年記念総務大臣表彰受賞（十一月二十日） 大口中学校・大口北部中学校を閉校し、新生大口町立大口中学校開校（四月一日） 健康文化センター指定管理者制度導入（四月一日） 愛知県植樹祭開催（大口中学校にて）（五月十七日） レジ袋削減・有料化協定調印式（八月二十一日） |
| 二〇〇八 | 二十 | 日本の総人口がビーク（二億二八〇八万人）となる | |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|-----|---|---|
| 二〇〇九 | 二十一 | 裁判員裁判制度開始(五月二十一日) 新型インフルエンザ感染確認(五月) 消費者庁発足(九月一日) | 荒井堰(五条川)改修工事完了(三月三十一日) 生涯学習まちづくり実行委員会設立(学校支援本部事業開始)(四月) 町民活動センター設置(四月) 大口町まちづくり基本条例制定(六月) 大口町土地改良区解散(九月三十日) |
| 二〇一〇 | 二十二 | 日本年金機構発足(一月一日) 新濃尾第一期工事完了(三月三十一日) 小惑星探査機「はやぶさ」帰還(六月十三日) | 大口北小学校移転開校(四月一日) スポーツ施設指定管理者制度導入(四月一日) |
| 二〇一一 | 二十三 | 東日本大震災発生(三月十一日) | 「地域自治組織による協働のまちづくり」提案書の取りまとめ(十一月) |
| 二〇一二 | 二十四 | 地上アナログテレビ放送完全終了(三月三十一日) 東京スカイツリー開業(五月二十二日) | 大口南小学校新校舎竣工(三月十六日) 町制施行五〇周年記念(四月一日) |
| 二〇一三 | 二十五 | 復興特別所得税導入(二〇三七年まで)(一月一日) インターネット選挙運動解禁(四月十九日) 国土強靱化基本法施行(十二月十一日) | 大口町消防団 日本消防協会特別表彰「まとい」受賞(二月二十六日) 未来の土地利用検討プロジェクト設置(四月一日) 三小学校区(町内全域)で地域自治組織設立(南…十二月八日、北…七月七日、西…七月二十八日) |
| 二〇一四 | 二十六 | 消費税率改正(五%↓八%)(四月一日) 介護保険法改正(六月) リニア中央新幹線着工(十二月十七日) | 大口町健康づくり計画「健康おおくち21」第二次計画策定(三月) 中保育園民営化(社会福祉法人宝光福祉会大口中保育園)(四月一日) 大口町社協と岩手県遠野市社協が災害時相互応援協定締結(五月二十四日) 大口町工場立地法地域準則条例制定(六月七日) 大口町議会基本条例公布(十二月二十二日) |
| 二〇一五 | 二十七 | サイバーセキュリティ基本法施行(二月九日) 子ども子育て新支援制度制定(四月一日) 公職選挙法改正(投票権が一八歳以上に)(六月十九日) スポーツ庁設置(十月一日) COP二一・パリ協定採択(十二月十二日) | 古代種の桜、クローン技術で芽吹く(二月) 大口町子ども子育て支援事業等計画策定(三月) 企業立地推進室設置(平成の企業誘致着手)(七月一日) 名古屋市長立白鳥小学校交歓会五〇周年(大口南小学校)(七月二日) 鳥根県松江市姉妹都市盟約締結(松江城国宝化)(八月二十九日) |
| 二〇一六 | 二十八 | 電力小売り全面自由化(四月一日) 熊本地震(四月十六日) 出生数が一九八八年統計調査開始以降初めて百万人を割る | 尾張中北消防指令センター運用開始(四月一日) 第七次大口町総合計画、まち・ひと・しごと創生戦略策定(五月) |

| 西暦 | 和暦 | 国・県などのできごと | 大口町のできごと |
|------|------------|---|--|
| 二〇一七 | 二十九 | 環太平洋パートナーシップ（TPP）協定締結（二月） | 北保育園舎新築竣工（三月九日） 大口町教育大綱制定（三月三十一日） 大口町シテイプロモーション戦略第一期アクションプラン策定（三月） 尾張北部環境組合設立（犬山市・江南市・大口町・扶桑町）（四月一日） ゲリラ豪雨（七・一四・五条川豊田地区内越水）（七月十四日） 新木津用水（大口町内萩島工区）改修工事着手（八月二十九日） 町内の国道四号、六車線化工事着手（十二月二十八日） 二〇一八年二月五日集中工事 |
| 二〇一八 | 三十 | 小学校で「道徳」が教科化（四月一日） 働き方改革関連法成立（六月二十九日） | 町内地区全防犯灯LED化終了（三月一日） 古代種の桜を商標登録「おおぐち観鋭桜」（三月二十日） 大口町スポーツ推進計画策定（三月） 大口南小学校が公共建築賞優秀賞を受賞（五月三十一日） 尾張北部権利擁護支援センター設置（小牧市、岩倉市、扶桑町と共同設置）（七月一日） 大口町空家等対策計画策定（八月） 国道四号外坪五丁目交差点供用（隧道による立体交差を平面交差点化）（十二月二十日） 青木川放水路（町内区間着工）（十二月二十一日） |
| 二〇一九 | 三十一 令和元 | 消費税率改正（八%を十%と軽減税率制の併用へ）（十月一日） 台風一九号による東日本豪雨（十月十日～十三日） | 多世代が集う憩い広場（旧大口北小学校跡地）竣工、おおぐち観鋭桜植樹（三月二十二日） 町内の国道一五五号、四車線化工事着手（十月十五日） 大口町歯と口の健康づくり推進条例制定（十二月二十四日） |
| 二〇二〇 | 二 | 新型コロナウイルス国内で感染確認（二月一日） 第五世代移動通信（5G）開始（三月二十五日） 民法、百二十年ぶりに改正（四月一日） 新型コロナウイルス感染症による初の緊急事態宣言（四月七日） プラスチック製レジ袋の有料義務化（七月一日） | おおぐち観鋭桜植栽（桜塚古墳）（二月二十二日） 農業集落家庭排水を公共下水道に接続（四月一日） 大口町子育て世代包括支援センター開設（四月一日） 西保育園未満児棟増築、供用開始（四月一日） 大口町シテイプロモーション戦略第二期アクションプラン策定（六月） 「大口町これからの地域づくり提案書」報告（十一月） |
| 二〇二二 | 三 | 第三二回オリンピック東京大会（一年延期で）開催（七月二十三日） 八月八日） デジタル庁設置（九月一日） 五十音別電話帳「ハローページ」新規発行廃止（十月、発行・配布が最終版） | 大口町国土強靱化地域計画策定（三月） GIGAスクール構想全児童生徒にタブレットPC配布（二五〇〇台）（三月） 新型コロナウイルスワクチン接種開始（五月十日） 大口中学校が島根県松江市へ修学旅行（五月十日～十二日） ネーミングライツ事業開始（総合運動場、温水プール、歩道橋）（十月一日） |
| 二〇二三 | 四 | | 大口交番建設工事竣工（庁舎北東角↓大口中学校南東角移転）（二月十七日） |

あとがき

大口町は二〇二二（令和四）年四月一日、町制六十周年という節目の年を迎え、『大口町史〈現代史編〉』を刊行するはこびとなりました。

町史編さん室は、二〇一八（平成三十）年一月から立ち上げました。町史編さん事業は本町の理念である協働のまちづくりの下、町民の皆様にお力添えをいただきたいと思い、同年五月より町史編さん講座を開講し、参加者に情報提供の呼びかけと編さん事業を共に進めていただけるようお声がけしました。その時に並々ならぬ熱い想いを伝えていただいた方々には、大口町史編集委員会の委員に就任していただきました。また、講座後にご所蔵の資料を教えていただくこともあり、その中の一つが本書第三編第二章で取り上げた日記です。この講座における参加者との対話が、本事業の礎となりました。

編さん講座と併行し、大口町史編集委員会の準備も進めました。二〇一八年十二月から二〇一九年三月に準備会を重ね、同年四月より発足しました。編さん室の立ち上げからご指導賜り、編さん講座では講師を引き受けていただき、さらに編集委員会では学術専門委員にご就任くださった愛知学院大学の後藤先生には、本町の理念をご理解いただいた上で、多大なるご尽力、お骨折りいただきしました。

後藤先生とも打合せを重ねていく中で、主に取り扱う時代が、今を生きるわ

たしたちも経験した現代にあたるため、「事実に加え、住民などの記憶や感性を大切に次世代へ繋ぐ町史」とのご指導を受けました。大口町史編集委員会でも、住民目線の町史づくりをコンセプトにする結論に至ったため、子どもの頃の思い出や、まちの出来事を経験した方々の想い・考えなど、記憶を記録として遺すため、コラムという形で具現化し、本書の随所に散りばめました。コラム掲載のため、様々な年齢・立場の方々々に当時の話をお伺いし、記録に残らなかった逸話など数多く教えていただきました。

町史編さん事業は試行錯誤を繰り返し、戦後における本町のあゆみと同様、逆境に耐え忍び、結果として発刊が当初の目論見より遅れることとはなりましたが、ここに発刊できることをまずは安堵しております。

多くの方々が本書を手にしてご利用いただくことで、郷土「おおぐち」のあゆみを知ったり、愛着が深まったりして、未来のまちづくりの一助となる、自立と共助の精神が心の中で育まれることを願っております。

最後に、貴重な資料のご提供や執筆原稿をいただいた方々、体験談などをお話いただいた方々をはじめ、編さんにあたりご理解とご協力を賜りました関係諸機関、編集委員会の委員として並々ならぬご尽力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和五年十二月

大口町教育委員会 町史編さん室